

第20回 第4分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所 第一分庁舎 7階 研修室
日 時	平成18年4月7日 午後6時40分～午後8時30分	記録者	【学生補助員】 坂巻、遠藤
		責任者	区事務局(田中)
会議出席者：26名 傍聴者0名 (区民委員：22名 学識委員：1名 区職員：3名)			
<p>配布資料</p> <p>第20回第4分科会会議進行次第、第4分科会班長会議まとめ、地区協議会と新宿区民会議との意見交換会(2006年3月25日実施)まとめ、提言のとりまとめイメージ(たたき台)、第3分科会提言のまとめスケジュール、第19回第4分科会会議録</p> <p>進行内容</p> <p>1 開会</p> <p>2 本日の議事</p> <p>(1)班長会議報告(4月3日)</p> <p>(2)第2回編集部会報告(4月7日)</p> <p>(3)論点整理</p> <p>(4)日程確認</p> <p>3 連絡事項</p> <p>4 閉会</p> <p>会議内容</p> <p>【発言者】 : 区民委員、 : 学識委員、 : 区職員</p> <p>1 開会</p> <p>(田中): 定刻を過ぎましたので、これより第20回第4分科会を始めさせていただきます。まず、配付資料の確認をさせていただきます。(略)</p> <p>申し遅れましたが、私は、4月から第4分科会を担当することになりました企画政策課主査の田中と申します。前任の熊澤は3月末をもって教育環境整備課と異動になりました。私はこの3年間、大久保特別出張所でコミュニティ担当主査をしておりました。本分科会と関連する業務として、大久保地区協議会の事務局や地域と行政の協働による環境美化活動を進める大久保百人町地区クリーン活動協議会の事務局を担当していました。</p> <p>6月の提言まであまり時間がありませんが、提言がうまくまとまるよう環境づくりをしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは進行を小宮さん、よろしく申し上げます。</p> <p>2 本日の議事</p> <p>(小宮): 本日の進行ですが、はじめに、4月3日に開催された班長会議の報告を行い、次に本日の午後に行われた第2回編集部会の報告をします。三つ目は論点整理となっております</p>			

が、小テーマを洗い出し、取り組みの方向性をきちっと出さなければなりません。なお、「地区協議会との意見交換会の議事録」につきましては、前回、石塚さんをご説明されていますので、後ほどご覧いただければと思います。それでは班長会議の報告を渡辺さん、お願いします。

(渡辺): 皆さん、こんばんは。4月3日の班長会議の内容についてお話しいたします。班長会議では6月の提言へ向けて、大テーマ、中テーマを検討しました。今まで大テーマは『ハード、ソフト、ハートのバランスのとれた環境配慮型都市』でしたが、別の表現の方がよいということから、『市民相互の協力で築く、環境配慮型都市』というテーマにしました。市民というのは住民、企業、行政を指します。この文言にしなければいけないということではなく、こういう意味のことを表現したらどうかということです。別の表現がよいという意見があれば、まだ変えることはできます。中テーマは5つの柱を立てました。『みどりと水、太陽の豊かな(訪れたい)まち』『人間本位の生活環境に配慮したまち』『地域から地球環境を改善するまち』『Eco-Ecoに取り組むまち』『環境教育を推進するまち』の5つです。第1の柱のカッコ書きの「訪れたい」につきましては、入れるか否かで意見が分かれたので、ここで検討していただければと思います。5つの柱はこういう内容にしたのですが、文言については、別の表現の方がよいのでないかというご意見があればおっしゃってください。

(小宮): ありがとうございます。続きまして、本日午後行われた第2回編集部会の報告をさせていただきます。「第3分科会提言のまとめスケジュール」と「提言の取りまとめイメージ(たたき台)」の2つの資料をご覧いただきながら、編集部会の内容を説明させていただきます。

本日の編集部会では、まず中テーマをまとめましょうということで、第1から第6の分科会でそれぞれ中テーマを持ち寄りしました。第4分科会では、先ほど渡辺さんが話された中テーマを出しましたが、第3分科会が作った、 、 、 の大テーマの中に、とりあえず入れてみて、それからうまく入れ替えていこうということで進めました。大テーマの文言は変わる可能性があります。まずは各々の分科会で勝手にやるというのではなくて、提言書のまとめに向け、無理のない範囲でまとめられるものはまとめていこうという考えで進めました。第4分科会としては、『みどりと水、太陽の豊かな(訪れたい)まち』と『人間本位の生活環境に配慮したまち』と『地域から地球環境を改善するまち』を第3分科会の大テーマ『くらしを守り、いのちを育てる』に落とし込むとあります。はどちらかという身回りの私たちの生活環境とか自然環境といった意味で、この4つの中に入れるとすればこの部分だということで、今日の時点ではここに入れました。『Eco-Ecoに取り組むまち』につきましては、経済と環境の融合ですから、大テーマの『われらの新宿』に入れました。大テーマの中テーマ3の後に(財源)と書いてありますが、財源だけではなく、地域でお金が回って持続していくのが目的ということで、ここに入れることができるのではないかと思います。『環境教育を推進するまち』も『われらの新宿』の中に入れましたが、皆できちっと環境教育をやっているということからです。各分科会の中テーマはほとんど、 、 、 の大テーマに入れましたが、「どうしてもこの中に入らない」という分科会もありましたが、とりあえずこの4つ

の中で考えていこうという状況で進んでいます。

先ほど渡辺さんからご説明があったとおり、大テーマ、中テーマを前回の班長会議で決めたのですが、まだきっちりとは決まっていません。また、大テーマはまだ議論になっていませんので、もう一度組み直してどういう大テーマになるのかということを経験していきながら必要があると思います。そのためには、まず中テーマの下に位置づけられる小テーマについて話し合いたいと思います。小テーマというのは、お手元の資料「提言のとりまとめイメージ(たたき台)」でいう小項目のことです。中項目は今のところ第3分科会の大項目(大テーマ)の中に落とし込むという流れになっています。中項目以降は、各分科会がきちんと内容を作りましょうということですので、まずは小項目、つまり第4分科会でいう小テーマの枠組みをきちんと明確にしていきたいと思いますということが、今日の編集部会の結論です。12日までに各分科会で小テーマを決めて、事務局に報告することになりました。

また、「提言のとりまとめ(たたき台)」にあるとおり、中項目単位で「将来のあるべき姿」と「現状と課題」を、小項目ごとに「取り組みの方向性」を書くことになりましたので、今日ご検討をお願いしたいと思います。以前に第4分科会で「今後の方向性」について話し合い、整理した表がありましたが、もう一度、小項目ごとに「今後の取り組みの方向性」について整理していただきたいと思います。今日決まらなければ班でまとめていただいて、それをまとめて提出するという形にさせていただきたいと思います。なお、第4分科会班長会議の資料の裏側に小テーマなどの表がありますが、これは昨日の班長会議の時点でまとめたものですので、今回はこのうち、小テーマと「今後の取り組みの方向性」のところをまとめられればよいと思います。何かご質問はございますか。

：大項目、中項目、小項目というのは、大テーマ、中テーマ、小テーマと同じものを指すのですか。そうであるのなら、第4分科会班長会議で決めた大テーマは一つに限るのですか。

(小宮)：はい、大項目、中項目などは大テーマ、中テーマを指しています。大テーマに関しては、班長会議の時点では、みどり・環境リサイクルに関してのテーマは一つにしようということになりました。

：その代わりに、中テーマをグループごとに書くということですか。

(小宮)：グループごとというよりも、この枠組みの中で、5つのテーマの中に落とし込んでいこうとなりました。各班がこういう見方で分けていこうということです。

：6つの分科会に分けて議論をしていますが、分科会ごとに論議の仕方が異なるのではないかと思います。よって一方的にそれぞれをまとめようというのは、無理があるのではないのでしょうか。それぞれの個性のある分類の仕方があると思います。テーマの数に関しては、ばらつきがあっては困るので、指定をすればいいと思います。論議する分科会によって内容は異なると思うので、それにあった提言書にすればよいのではないのでしょうか。

(小宮): 提言書についてはこれから議論しますが、最終的に分厚いものを作ると誰も見ないということもあるので、量に関しては適度なものになると思います。分科会ごとに決める内容もあると思いますし、テーマごとに長くなるものもあると思います。小テーマを決め、中テーマとの横並びも見て、これはこちらのグループに移した方がよいのではないか、というように小テーマを見ながら、中テーマを決める。そして中テーマが決まったら、大テーマを考えましょうということなので、量的なことはまだ決まっています。

: 中間発表で資料はできているので、これをベースにして量を減らすことや、内容が細かすぎるといった点を考慮して反省材料としての土台にするべきではないですか。そうしたことが今後の作業ではないかと思います。

(小宮): そうですね。順番を考慮してみると、やはり中テーマ、小テーマを先に決めてしまいたいところです。一回整理してみると、こちらにした方がよいのではないか、ということが出てくると思います。例えば、我々から見た時、小テーマが中テーマのようになっている分科会もあるので、難しいとは思いますが、いったん第4分科会として取り組んでみて、それを基に考えていきましょう。A4 見開きの左側に中テーマの「将来のあるべき姿」と「現状と課題」を、右側にはそれに対する小テーマとコメントが入るというイメージですが、全体の量はまだはっきり分からない状況です。区民に見てもらうことが大切なので、ごたごたと言葉で書き綴るよりも、写真や絵やイラストを使って、なるべく分かりやすいものを作るべきではないかという意見もあります。これから小テーマを分かりやすく明確にしていかななくてはいけないのですが、小テーマのイメージは細かいものと、それがまとまった形で中テーマに近いものもあると思いますし、どのあたりのことを小テーマというのかというのがあると思います。

今後、基本構想、基本計画、実施計画ができるわけですが、内容的には区が行う事業がイメージできるような姿を書いてもらえれば十分ということです。例えば「公園をどこかに作る」という文言は、事業として成り立ち、誰がどこでやるという具体的な話ができるのでよいと思います。しかし、何が書いてあるのかが分からないもの、例えば「を検討する」という表現になると、事業としては成り立たないので小テーマとして適切ではありません。今回、基本構想、基本計画を改定するわけですが、基本構想に書かれている基本理念(注:「人間性の尊重」「自立と交流連帯」「地域性の重視」)はなかなか変わるものではないですから、その下に繋がってくる中身を変更することになると思います。まっさらな状況で基本構想、基本計画を新たに作っていくというイメージになります。よって、小テーマに関しては具体的に、実際に事業をやることを意識した形での書き方がよいのではないかと思います。何かご質問はありますか。

: 第3分科会から出てきた4つの大テーマがありますが、その4つに第4分科会の中テーマを落とし込むにあたって、今日の班ごとの作業としては、それぞれの柱に従ってどういう小テーマを出すかを書き抜くことでよろしいのでしょうか。

(小宮):そうですね。例えば小テーマについて先ほどの紙の右側に「今後の取り組みの方向性」の欄がありますから、それに書き込んでもらいます。それは別に新しいものを作ってもらうわけではなく、今まで出たもので結構です。

:これはあくまでも第3分科会が出したものであって、無理に第4分科会のテーマをこの中に全て入る必要はないのではないのでしょうか。第4分科会として、第3分科会的なことを出してもいいのですよね。

(小宮):第3分科会の中に入らなくてはいけないということではなく、最終的に提言書を作る時には、テーマ別にやっていきましょうということは決まりました。大テーマ、中テーマをどうしようかということですけど、決してこの中に織り込まなくてはいけないということではないです。どうしても第4分科会は大テーマを作るということであればできますが、それをやってしまうと、ほとんど分科会ごとの提言になりそうです。

:環境とはすごく広い分野だと思うので、第3分科会全体を第4分科会が包み込むことも可能だと思います。第4分科会の環境というのは、子育てもそうだし、教育もそうだし、第3分科会のまちづくりもそうだし、範囲が広いので、第3分科会の中に入るのではなくて、第4分科会としてのストーリーを考えて、それに第3分科会が入るといようなことの方がよりうまくいくのではないかと思うのですが。

(小宮):とりあえず第3分科会が4つの大テーマの案を出したので、それに沿った形で進めたものです。

:4月11日と5月9日の第3分科会に代表の者が出席するので、その人たちに意見をまとめて持って行ってもらえればよいと思うので、今日は特にこの話をするというよりは、班長会議で話し合った中テーマ、小テーマの論点整理を進めていくことでよいのですよね。早く話し合ったほうがよいのではないのでしょうか。

(小宮):ええ、中テーマは、どうしてもよくないというのであれば変えることはできます。それで、4月4日の第3分科会のテーマが『環境の再生と創造』ということで出ましたが、少し私たちの考え方とは違ったので、輿水先生と話し合い、皆さんの意向を考えたのですが、決してには入らないと思いました。

:確認と理解のために質問します。お話を聞いていると、第3分科会の出している、
、
の4つのテーマが大テーマとして位置づけられ、この大テーマに他の第1~6の分科会の議論を寄せて、この大テーマを基軸にして、以後の中テーマや小テーマの話を織り込んでいくと理解したのですが、それでよろしいのでしょうか。

(田中):事務局も編集部会に同席したので、ご説明させていただきます。編集部会では、

区長への提言は体系づけてまとめれば分かりやすくなるので、まずは各分科会から中項目を出し合ってグループ分けをしようということになりました。例えば、安全・安心という分野は、第3分科会と第6分科会で共通なテーマですが、共通なものがあれば一緒にまとめていきましょうという趣旨です。では、どのようにグループ分けをするかということですが、既に第3分科会から案が出ているので、とりあえずそれを基にグループ分けをしてみようということになりました。しかし、中テーマの表現は抽象的なものが多く、そのテーマが具体的に何を指しているのかがわからない。また、表現が似ているテーマであっても、内容が本当に共通しているのかが分からない。小テーマが出てはじめて内容が分かり、グループ分けが可能になるわけです。そのために今回は小テーマを検討し、出していただきたいと思います。なお、大テーマに関しては、とりあえず第3分科会のものをたたき台としているだけで、グループ分けを行った後に改めて考えていこうということになっています。

: ホワイトボードを使って、分かりやすく理解したいと思うのですがよろしいでしょうか。

第1分科会

小テーマ

1

2

3

:

第2分科会

小テーマ

1

2

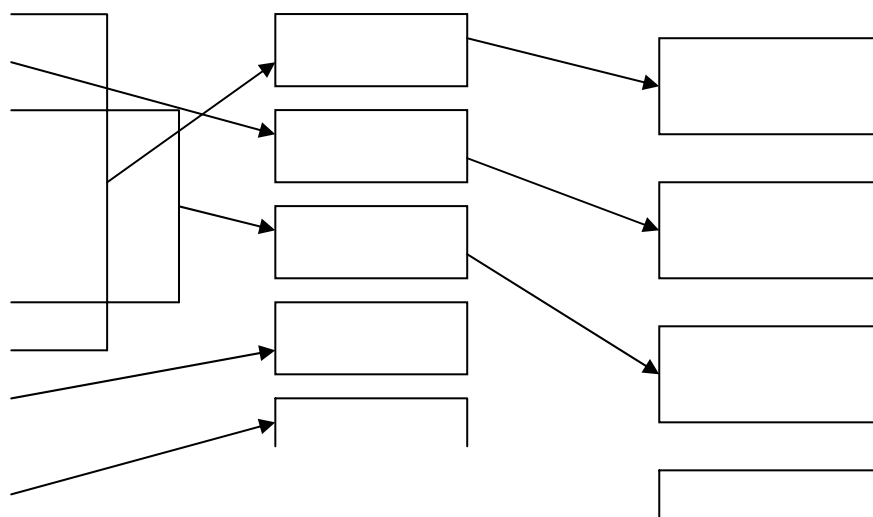
3

:

第 分科会

中テーマ

大テーマ



中テーマは班長会議で決めましたが、それは仮置きを考えとし、まずは小テーマまで話を落とし込む。そして、分科会の議論を超えてお互いのテーマの近いところをグループ化できるかということを検討する。そして、それを基に、はじめに用意した中テーマまたは他の中テーマに組み込む。そのような話の流れでよろしいのでしょうか。区民会議としての全体的なシェアで提言内容を組み立てていかなければならない時期に来ているので、このようなやり方で進めましょうということでしょうか。とりあえず今ある第4分科会の中テーマはこのようなやり方で進めるため、入り口の部分で仮置きし、それを手がかりにして小テーマを確立していきましょう。そして、もしかしたら今ある中テーマは変わる可能性もあるということですね。

(小宮): はい、そうです。とりあえず中テーマを他の分科会から言われて変えるというわけではありません。これ以降は私たち第4分科会の中でやることです。

：確認です。それで決定ということによろしいですか。もう考えがぶれないようにお願いします。

：第4分科会としてはあくまで環境という方面からのアプローチですよね。うちの班は生活者としての視点といった切り口から取り組んでいるのですが、第3分科会では、少し視点が違ってくると思います。それを文言が同じだからといって一緒にしてしまっているのかどうかという点に関しては問題があると思うのですが。

(小宮)：おっしゃるとおりだと思います。中身をきちんと出して、確かな小テーマにする必要があると思います。それを第1～第6までの分科会の中で意味が異なっていたとして、それに当てはめなくてはいけないということではありません。ただ、どうして第4分科会として、とに落とし込んだかということ、の『くらしを守り、いのちを育てる』という表現は、路地に車が来ないように良くしていこうとか、あるいはゴミをどう扱うかといった様々な生活のレベルの視点であり、そうした意味であればここでよいのではないかと思いました。第3分科会はハードが中心で、都市マスタープランを目指してやっていますから、のカッコ書きの「住宅・住環境、ユニバーサルデザイン、防災・安全・安心、公園・公共施設」についてはほとんどハードです。だからハードもソフトも含めて一つのテーマと考えれば、ここに入れてもいいかなというイメージです。そうでなければは適切ではないかもしれませんが、そうしないと、ソフトとハードが全く別れてしまって良くないという意見もあり、いずれにしても小項目を詰めて全く異なるようであれば、それは新しく作ればよいと思います。

：そのご意見ですけれども、同じものを取り上げても分科会によっては統一の仕方、視点が違ってきます。それを一つにグループ分けして、その中でどのように表現していくかということを考えるということですが、もしも一つのものに対して全く違う矛盾した取り上げ方、結論が出てきている場合、それは分科会同士で話し合うのですか。例えば、ごみの問題なのですが、私たちはごみというのは資源だと考えておりますが、景観や美化といった立場から考えると、ごみというのは目障りだから、大きなゴミ箱作って、その中に入れてしまえばいいとか、清掃工場に運んでどんどん燃やしてしまえばいいだとか、そういう視点になる場合もあると思います。先日の第3分科会での話し合いで、第3分科会では、ごみについては検討しているけれど、その中身までは検討していないとのことだったので、もしも全く反対の結論が出たとしたら、そのような場合はどのようにまとめていくのでしょうか。

(小宮)：反対というよりも二つの見方があるということだと思いますから、町をきれいにするために、ごみをどうにかしましょうということと、資源循環という将来のことを考えながら物を大切に地球の資源をなくならないようにしましょうと言っているの、二つは全く違うものだと思っています。今のご質問ですと、私たちの言う『地域から地球環境を改善するまち』に資源循環のことと地球温暖化のことが入っていると思います。そう考えると、そういうことは関係ない、とにかくきれいになればよいということであれば、それは私たちの考え方と

違うわけですから、我々は第4分科会としてどうするかを考えていけばよいと思います。

それでは、一番大切な小項目について、20時30分には終わらなくてはならないので、20時15分までご検討、よろしくお願いいたします。

(班ごとに検討)

(小宮): 20時15分になりました。先ほど申し上げたように12日の夜までには区に小テーマを出さなくてはなりません。出す形としては中テーマの右側に小テーマを書くこととなりますが、今までの大テーマが5つありますが、小テーマは違う中テーマのところに入ってくるものがあるのではないかと思います。時間が許せば私が中テーマに括ろうと思うのですが、12日までに提出しなければならぬので、班長さんには申し訳ないのですが、責任を持って12日の午前中までをお願いしたいと思います。

日程確認

次回以降の会議日程について

第21回	4月22日(土)	13:30~15:30	新宿区役所第1分庁舎	7階研修室
第22回	5月12日(金)	18:30~20:30	新宿区役所第1分庁舎	7階研修室
第23回	5月27日(土)	13:30~15:30	新宿区役所第1分庁舎	7階研修室
第24回	6月2日(金)	18:30~20:30	新宿区役所第1分庁舎	7階研修室

3 連絡事項

(小宮): 連絡事項になります。お手元の資料の会議進行次第にあるとおり、日程確認をお願いします。それから次回の班長会議は4月13日です。小テーマの提出が12日ですので、そこで小テーマを確認してこうしようといった流れができないかもしれません。申し訳ありませんが、今日作ってまとめていただいたものを出さざるをえないと思いますので、ご了承ください。まだこれで終りではなくて、大テーマ、中テーマ、小テーマの中でのいろいろなことがあると思いますが、調整は可能です。それから、第3回編集部会が4月14日にあり、私が出席します。また、6月25日の提言の最終発表に向けての第1回ワーキンググループ会議が4月18日に行われます。植木さん、嘉藤さん、永井さんの3人の方をお願いさせていただきましたので、よろしくお願いいたします。

全般を通して何かご質問ありますか。ないようでしたら以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。

(拍手)

4 閉会

以上